

平成 23 年度 かすみがうら市の 施政方針と予算

一般会計 150 億 5,000 万円 (0.5% 減)
特別会計 94 億 7,920 万円 (3.2% 増)

特 別 会 計

特定の事業を行う場合に、一般会計と区分し経理する会計です。

会計名	予算額	前年度比(%)
国民健康保険	46 億 8,500 万円	5.1
後期高齢者医療	5 億 9,400 万円	5.9
下水道事業	12 億 2,400 万円	▲ 1.0
農業集落排水事業	3 億 5,740 万円	▲ 0.4
介護保険	26 億 1,880 万円	2.0
合 計	94 億 7,920 万円	3.2

企 業 会 計

民間企業における会計と同じで、事業の収益で支出を賄う独立採算制の会計です。

会計名	予算額	前年度比(%)
水道事業	収入 10 億 528 万 9 千円 支出 10 億 528 万 9 千円	▲ 4.0 ▲ 4.0
資本的収支	収入 1,750 万 1 千円 支出 5 億 2,732 万 8 千円	▲ 84.6 0.7

※資本的収支の不足額 5 億 982 万 7 千円は、過年度分損益勘定留保資金と減債積立金で補てん

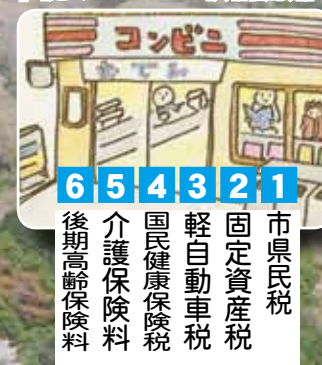
※各項目の割合は小数点以下第 2 位を四捨五入したもので、カッコ内は、対前年度比。



ブランド化を推進

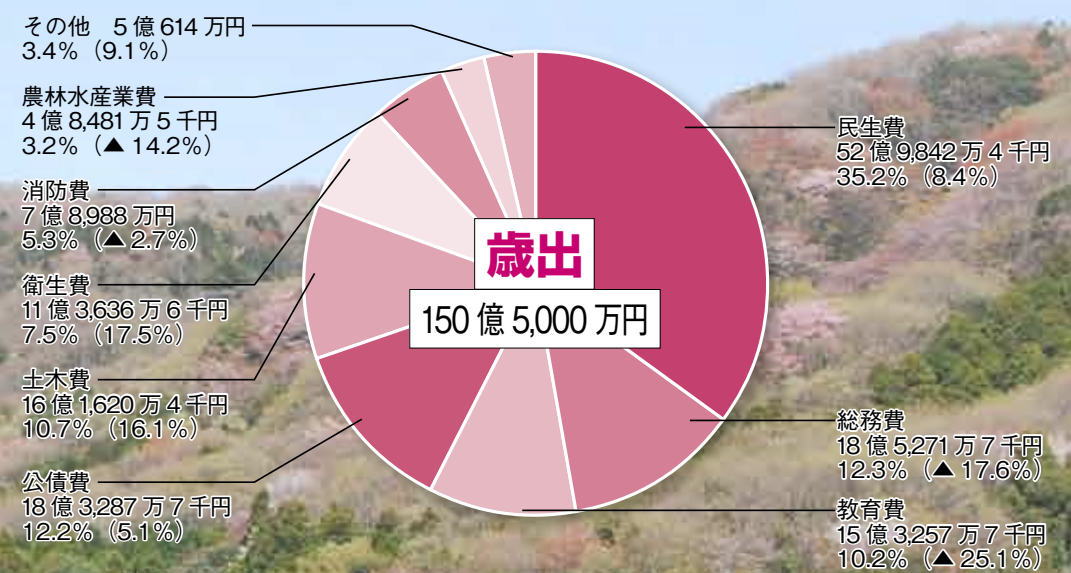
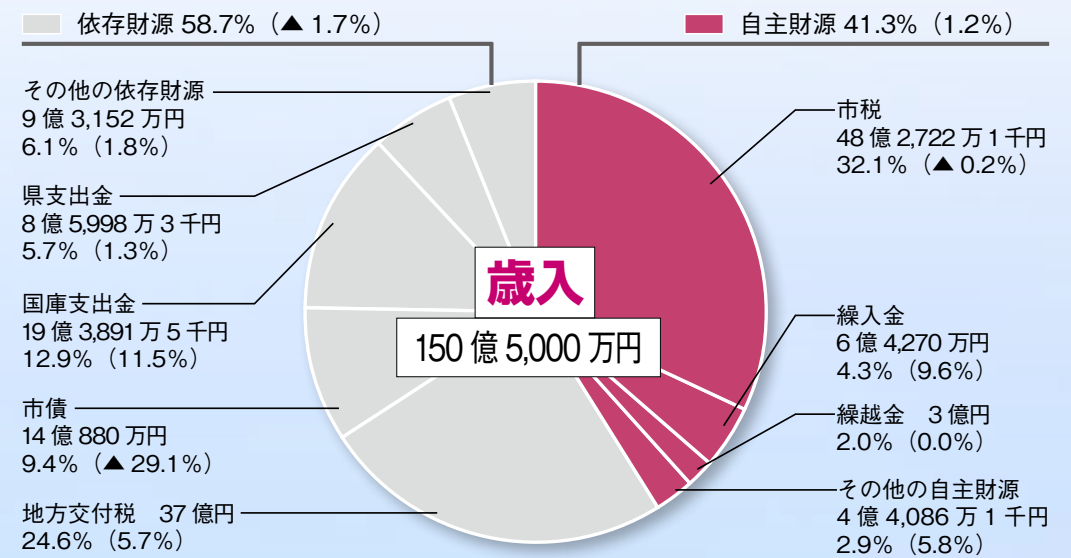


市税のコンビニ収納開始



予算に関する問い合わせは 財政課 ☎内線 1571

一 般 会 計



施政方針

かすみがうら市長
宮嶋光昭

平成 23 年度の市政運営に当たり、その方針の一端を申し上げます。

先の内閣府の月例経済報告では、「景気は、持ち直しに向けた動きがみられ、足踏み状態を脱しつつある。ただし、失業率が高水準にあるなど依然として厳しい状況にある。」という内容です。

しかし、何といても最大の不安材料は、公的部門が抱える GDP の 2 倍を超える負債残高であり、これが経済クラッシュの引き金にならないければとの懸念であります。私は、このような状況の中で、引き続き徹底した、行政改革に取り組んでいく必要があるとの思いを新たにしているところであります。

こうした観点から、選挙公約として掲げておりました、特別職報酬の減額や国民健康保険税の近隣市町村並みへの引き下げ、さらには、育児保育・学童保育の拡充などの子育て支援に取り組むとともに、中学生以下の医療費の無料化

につきましては、平成 23 年度中の条例改正を目指すこととします。また、石岡地方斎場移転計画の見直しを関係市との合意形成に向け引き続き協議してまいります。そして、常設型市民投票条例の制定につきましては、現在、総務省において、国全体としての取り組みの方向が示されているところから、その状況をもう少し注視すべきと考えております。

このような中、平成 22 年度には、補助金等審議会並びに政策推進戦略会議を立ち上げ、補助金の見直しとともに、事業仕分けを実施し財源の確保に努めてきたところでございます。また一方で、地場産業活性化の一環としてシルバ産業実現に向けての研究、さらには、都市交流のある板橋区に職員を派遣し、市の情報発信の為の市単独のアンテナショップオープンを目指しているところであります。

平成 23 年度事業につきましては、かすみがうら市総合計画に基づき行政運営を進めてまいります。が、前期基本計画が最終年度の 5 年目にあたることから、現下の変動する社会情勢を踏まえ、後期基本計画の策定に向けて見直していく考えであります。

平成23年度 主要事業

歳入については、税収が低迷する中、地方交付税の増により一般財源が確保されました。

歳出については、学校耐震化の推進など安全・安心な市民生活の確保、道路整備等の市民生活に密着した社会資本整備の着実な推進と併せ、神立駅周辺整備事業など新たな課題への対応が求められる中、国民健康保険事業における保険税の見直しなど福祉の向上を優先施策として、合併特例債や基金の活用により、社会保障の充実と社会資本整備のバランスに配慮した予算としました。

主な新規事業、拡充事業、継続事業と事業費は次のとおりです。

※東日本大震災の復旧・復興は平成22年度補正予算および予備費で対応しました。

平成23年度も補正予算などで対応してまいります。

新規事業

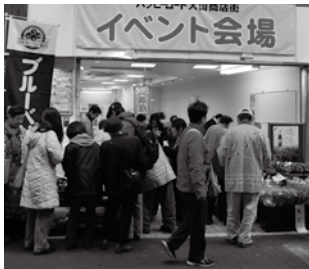
事業名と事業費		概 要
狭あい道路整備等促進事業	1500 万円	災害に強く快適な住環境をつくることを目的に、狭あい道路（幅員が4m未満の道路）を調査し、データベース化
消防団施設整備事業	626 万 3 千円	現在 10 分団、54 部 2 班、車両 56 台の構成を、10 分団、20 部に統合予定。上志筑、大峰、横堀、五反田の消防団統合に伴い新規詰所の整備
虐待予防等対策事業	260 万 4 千円	心理的なケアを行う専門相談員の配置
小学校施設耐震促進事業	1,499 万 4 千円	平成 23 年度～平成 24 年度に下稲吉東小学校校舎 2 棟の改修
都市農村交流事業	771 万円	板橋区にアンテナショップを設置し、市の情報発信を行うとともに、名産品等を販売し消費者の情報を収集

拡充事業

事業名と事業費		概 要
交通安全対策事業	3,051 万円	防犯灯管理システム委託および地図システムを活用した防犯灯の維持管理台帳の整備
神立駅周辺整備事業	7,719 万 4 千円	神立駅西口地区土地区画整理事業の事業認可手続き。駅舎の橋上化、東西自由通路の整備
任意予防接種事業	9,363 万 9 千円	・子宮頸がん予防 (HPV) ワクチン／3 回接種【対象者】中学 1 年生 (13 歳相当) ～高校 1 年生 (16 歳相当) の女子 ・ヒブ (インフルエンザ菌 b 型) ワクチン／0 歳 3 回、1 ～ 4 歳 1 回【対象者】0 ～ 4 歳の乳幼児 ・小児用肺炎球菌ワクチン／0 歳 3 回、1 歳 2 回、2 ～ 4 歳 1 回【対象者】0 ～ 4 歳の乳幼児
下稲吉小学校施設整備事業	2 億 6,992 万 2 千円	耐震診断の結果、耐震化の必要な校舎などの改修
観光 P R 推進事業	2,077 万 9 千円	おもてなし料理の展開、湖山の宝パスポート印刷・ホームページ管理運営、漫遊いばらき観光キャンペーンの推進など
企画調整事業	765 万 2 千円	現在実施している事業の事業仕分けを 10 月頃に実施



継続事業である千代田地区への防災無線整備を推進



新規事業である板橋区へのアンテナショップ開設推進

予算に関する問い合わせは
財政課 ☎内線 1571

主な継続事業

事業名と事業費		概 要
浄化槽設置整備事業	4,441 万 3 千円	高度処理型浄化槽の設置に対し、60 基を助成予定。（茨城県森林湖沼環境税充当事業）
まちづくり交付金事業	1 億 2,500 万円	㊦ 2583 号線(西成井バイパス)、㊦ 0109 号線(西成井・神立)、㊦ 8-0483 号線(下稲吉)、㊦ 6-0004 号線(新治)における道路改良・舗装
五輪堂橋改修事業	1 億 600 万円	五輪堂橋の改修
市道㊦ 6-0006 号線整備事業	1 億 2,397 万 6 千円	市道㊦ 6-0006 号線の整備および新治橋の改修
市道整備事業	3 億 63 万円	㊦ 8459 号線（加茂・戸崎）、㊦ 6-0007 号線(根 当 地 内)、㊦ 0204 号線他（四ヶ村地内）、㊦ 8-0576 号線（中郷谷地内）、㊦ 8004 号線（戸崎原地内）、㊦ 2583 号線（西成井地内）における改良、舗装、排水整備工事など
公共交通対策事業	5,460 万円	シャトルバス、デマンドタクシーの実証運行
上水道管路施設統合事業	3,509 万 1 千円	霞ヶ浦地区と千代田地区の配水管の延伸および接続工事
石岡地方斎場組合事業	1 億 7,491 万 6 千円	火葬に関する共同事務、斎場建設本体工事、火葬炉工事など
特定環境保全公共下水道整備事業	1 億 5,702 万 6 千円	加茂地区を対象に、特定環境保全公共下水道区域内の施設整備
特定環境保全公共下水道維持事業	5,975 万 6 千円	下水道長寿命化計画の策定
防災無線整備事業	5,268 万 9 千円	千代田・霞ヶ浦地区で異なる防災無線体系を統一
高齢者対策事業	1,640 万 6 千円	高齢者福祉計画の策定
障害者自立支援事業	4 億 7,180 万 7 千円	障害者計画・障害福祉計画の策定
子ども手当事業	10 億 1,399 万 6 千円	子ども手当の支給
志筑小学校移転整備事業	2 億 2,710 万 4 千円	外周道路、校舎・体育館建築、グラウンド整備、プール建築
学校介助員設置事業	1,483 万 5 千円	美並小、牛渡小、央倉小、下稲吉小(3)、下稲吉東小(2)、新治小、佐賀小、下大津小、志筑小、南中、下稲吉中に計 14 人を設置
指導主事設置事業	2,975 万円	指導主事の配置を継続
中学生海外派遣事業 「少年のつばさ」	850 万円	中学2年生 30 人を対象
水産振興事業	559 万円 7 千円	わかさぎ孵化放流事業補助金、ブルーギル除去補助金、水産加工特産品キャンペーン事業補助金
農用地利用集積特別対策事業	604 万 7 千円	農地法実態調査の実施および耕作放棄地図面の作成
農業振興事業	1,018 万 7 千円	認定農業者、担い手の支援、農業振興地域整備計画業務委託、遊休農地対策事業補助金など
園芸振興事業	1,593 万 8 千円	病害虫防除、農業用廃プラスチック適正処理、花き優良種苗導入資金貸し付けなど
林業振興事業	1,792 万 7 千円	身近なみどり整備推進事業、一般造林事業補助、みどりの少年団補助など
米政策推進事業	2,356 万 4 千円	これまでの水稻以外の戦略作物等産地づくりの推進方針を改め、水田作物の作付け収穫を推奨 ・飼料米 35ha × 15,000 円 / 10a、 ・加工米 20ha（3,500 袋× 1500 円 / 袋）、 ・新規作付(レンコン) 10ha × 1000 円 / 10a、 ・認定農業者(担い手)加算 125.25ha×10,000 円 / 10a
中小企業対策事業	3,220 万円	中小企業の事業活動や商業活動安定化の促進
商工振興事業	2,770 万円	地元の中小事業者の経営改善を推進するリフォーム補助や、市内施工業者の住宅の改良、改善工事に対し補助金を交付
企業立地促進事業	3,181 万 6 千円	企業誘致の推進、担当窓口の設置など
消費者支援事業	291 万 4 千円	市民の相談や苦情を適正かつ迅速に処理
ふるさと市民事業	86 万 5 千円	市内観光施設等利用時の特典、定期的情報誌の発行、ふるさと大使や各種イベントでの市の PR
自治振興事業	2,301 万 1 千円	行政区・自治会へ広報誌等の文書配布業務を委託、地域集会施設等の整備助成(東宝ランド、鹿野ノ山、有河)
収入未済額縮減対策事業	1,890 万 3 千円	コンビニ収納による 24 時間収納の開始